

# 栄 養 教 諭

## 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 食に関する法規等について、次の問いに答えよ。

(1) 食育基本法（平成28年4月1日施行）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 次の文は、この法律が作られた背景を説明している前文の一部である。空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

社会経済情勢がめまぐるしく変化し、日々忙しい生活を送る中で、人々は、毎日の「食」の大切さを忘れがちである。国民の食生活においては、、、肥満や生活習慣病の増加、などの問題に加え、新たな「食」の安全上の問題や、「食」のが生じており、「食」に関する情報が社会に氾濫する中で、人々は、食生活の改善の面からも、「食」の安全の確保の面からも、自ら「食」のあり方を学ぶことが求められている。また、豊かな緑と水に恵まれた自然の下で先人からはぐくまれてきた、地域の多様性と豊かな味覚や文化の香りあふれる日本の「食」が失われる危機にある。

	A	B	C	D
1	栄養の偏り	不規則な食事	過度の瘦身志向	海外への依存の問題
2	栄養の不足	不規則な食事	過度の偏食傾向	大量廃棄の問題
3	栄養の偏り	朝食の欠食	過度の瘦身志向	海外への依存の問題
4	栄養の偏り	朝食の欠食	過度の偏食傾向	大量廃棄の問題
5	栄養の不足	朝食の欠食	過度の瘦身志向	大量廃棄の問題

② 次の文の空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

第二十条 国及び地方公共団体は、学校、保育所等において  の推進に関する活動を効果的に促進することにより子どもの健全な食生活の実現及び健全な心身の成長が図られるよう、学校、保育所等における食育の推進のための指針の作成に関する支援、  にふさわしい教職員の設置及び指導的立場にある者の食育の推進において果たすべき役割についての意識の啓発その他の食育に関する指導体制の整備、学校、保育所等又は  を生かした学校給食等の実施、教育の一環として行われる農場等における実習、食品の調理、食品廃棄物の再生利用等様々な  を通じた子どもの食に関する理解の促進、過度の痩身又は肥満の心身の健康に及ぼす影響等についての知識の啓発その他必要な施策を講ずるものとする。

	A	B	C	D
1	魅力ある食育	食育の実践	地域の特色	啓発活動
2	実践的な食育	食育の指導	地場産物	啓発活動
3	魅力ある食育	食育の指導	地域の特色	体験活動
4	実践的な食育	食育の実践	地場産物	体験活動
5	魅力ある食育	食育の実践	地場産物	体験活動

(2) 食育基本法（平成28年4月1日施行）第16条に基づき定められた平成28年度から平成32年度までの5年間の期間とする「第3次食育推進基本計画」について、次の①、②の問いに答えよ。

① 食育の推進に関する施策についての基本的な方針の中で示されている重点課題について、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- A 生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進
- B 多様な暮らしに対応した食育の推進
- C 健康寿命の延伸につながる食育の推進
- D 食文化の継承に向けた食育の推進
- E 家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進

	A	B	C	D	E
1	×	×	○	○	○
2	○	○	×	○	×
3	○	×	○	×	○
4	×	○	○	○	×
5	×	○	×	×	○

② 次の文は、食育の総合的な促進に関する事項の中で、「2. 学校、保育所等における食育の推進（2）取り組むべき施策」の記述の一部である。空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

(食に関する指導の充実)

学校教育活動全体で食育の推進に取り組むためには、各学校において食育の目標や具体的な取組についての  を持つことが必要である。このため、校長や他の教職員への研修の充実等、全教職員が連携・協働した食に関する指導体制を充実するため、教材の作成等の取組を促進する。

(学校給食の充実)

食生活が自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動の上に成り立っていることについて、児童生徒の理解を深め、  を育むよう、市町村が中心となり、  との連携を強化し、学校給食における地域の農林水産物の安定的な生産・供給体制を構築する。

(就学前の子供に対する食育の推進)

乳幼児期から食育の重要性が増していることに鑑み、就学前の子供が、発育・発達段階に応じて健全な食生活を実践し、健康な生活を基本として望ましい食習慣を定着させるとともに、  を積み重ねていくことができるよう、保育所、幼稚園及び認定こども園等において、家庭や地域と連携しつつ、様々な食育を推進する。

	A	B	C	D
1	共通理解	勤労の精神	生産者や学校	食べる喜びや楽しさ
2	正しい認識	感謝の心	保護者や地域	豊かな食体験
3	正しい認識	勤労の精神	保護者や地域	食べる喜びや楽しさ
4	共通理解	感謝の心	生産者や学校	豊かな食体験
5	共通理解	勤労の精神	保護者や地域	豊かな食体験

(3) 学校給食法（平成28年4月1日施行）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 次の文の空欄Aに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

第一条 この法律は、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることにかんがみ、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施に関し必要な事項を定め、もつて  及び学校における食育の推進を図ることを目的とする。

- 1 食に関する指導と給食管理の一体的な展開
- 2 食に関する指導体制の整備
- 3 食に関する実践的な指導
- 4 学校給食の教育的意義の明確化
- 5 学校給食の普及充実

② 第二条（学校給食の目標）に記されている記述として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な学校生活を営むことができる実践力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- B 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。
- C 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- D 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び自律の精神を養うこと。
- E 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	×	○
2	○	○	×	○	×
3	×	○	○	×	○
4	×	○	○	○	×
5	○	×	×	○	○

(4)「食に関する指導体制の整備について(答申)」(平成16年1月20日 文部科学省)について、次の①、②の問いに答えよ。

①「第2章 栄養教諭制度の創設 1 栄養教諭の職務 (2) 学校給食の管理」で示されている栄養教諭の具体的な職務内容として、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 学校給食調理場の設置計画の策定への参画
- 2 学校給食における栄養量及び食物アレルギーに配慮した献立の作成
- 3 学校給食の調理、配食及び施設設備の使用方法等に関する指導・助言
- 4 調理従事員の衛生、施設設備の衛生及び食品衛生の適正を期するための学期に1度の点検及び指導
- 5 学校給食の安全と喫食率の向上を期するための検食の実施及び検査用保存食の管理

② 次の文は、「第2章 栄養教諭制度の創設 1 栄養教諭の職務 (3) 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開」の記述である。空欄A～Cに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

栄養教諭は、である学校給食の管理と、それを活用した食に関する指導を同時にその主要な職務の柱として担うことにより、両者を一体のものとして展開することが可能であり、が期待される。学校給食の教材としての機能を最大限に引き出すためには、その管理を同時に行うことが不可欠であり、また、食に関する指導によって得られた知見や情報を給食管理にフィードバックさせていくことも可能となると考えられる。具体的には、例えば、体験学習等で栽培した食材や地域の食材を学校給食に用いることで、生産活動と日々の食事のつながりを実感させたり、食に関する指導を通じて児童生徒の食の現状を把握し、不足しがちな栄養素を補うため、献立の工夫や保護者に対するを行うことなどが考えられる。

	A	B	C
1	生きた教材	効果的な食育	栄養相談
2	生きた教材	高い相乗効果	啓発活動
3	望ましい食事	高い相乗効果	啓発活動
4	生きた教材	高い相乗効果	栄養相談
5	望ましい食事	効果的な食育	栄養相談

2 食に関する指導について、次の問いに答えよ。

(1) 次の各文は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）の別紙4に示された「健康・安全・食に関わる資質・能力」の記述の一部である。空欄A～Eに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

( ・技能)

様々な健康課題、自然災害や事件・事故等の危険性、健康・安全で安心な  づくりの意義を理解し、健康で安全な生活や健全な食生活を実現するために必要な  や技能を身に付けていること。

(思考力・判断力・  等)

自らの健康や食、安全の状況を適切に評価するとともに、必要な情報を収集し、健康で安全な生活や健全な食生活を実現するために何が必要かを考え、適切に  し、行動するために必要な力を身に付けていること。

(学びに向かう力・  等)

健康や食、安全に関する様々な課題に関心を持ち、主体的に、自他の健康で安全な生活や健全な食生活を実現しようとしたり、健康・安全で安心な  づくりに貢献しようとしたりする態度を身に付けていること。

	A	B	C	D	E
1	知識	社会	表現力	意思決定	人間性
2	知識	社会	想像力	意思決定	主体性
3	知識	学校	表現力	取捨選択	人間性
4	態度	学校	想像力	取捨選択	主体性
5	態度	社会	表現力	意思決定	主体性



(2) 次の文は、小学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第2章 各教科 第8節 家庭 第2各学年の内容〔第5学年及び第6学年〕 1 内容 B 衣食住の生活（3）栄養を考えた食事」の記述である。空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 体に必要な  について理解すること。

(イ) 食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を  とる必要があることを理解すること。

(ウ) 献立を構成する要素が分かり、 の献立作成の方法について理解すること。

イ  の献立について栄養のバランスを考え、 こと。

	A	B	C	D
1	栄養素の種類と主な働き	組み合わせて	1食分	工夫する
2	栄養素の種類と主な働き	季節を考えて	1食分	調理する
3	食品の種類と概量	組み合わせて	1日分	調理する
4	栄養素の種類と主な働き	組み合わせて	1日分	工夫する
5	食品の種類と概量	季節を考えて	1食分	調理する

(3) 「食に関する指導の手引 - 第二次改訂版 -」(平成31年3月 文部科学省)について、次の①～③の問いに答えよ。

① 今回の改訂により示された「食育の視点」の項目として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
- 2 食べ物を大事にし、食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。
- 3 各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。
- 4 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。
- 5 食品ロスの削減の重要性について理解し、自主的に取り組む態度を身に付ける。

② 次の文は、「第5章 給食の時間における食に関する指導 第2節 給食の時間に行われる食に関する指導 2 給食の時間における食に関する指導」の記述の一部である。空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

給食の時間における食に関する指導は、「食に関する指導」の  役割を担うものです。  
 を通して食品の産地や  な特徴を学ぶことができるほか、郷土食や行事食などの  を学校給食で学ぶことにもつながります。さらに、学校給食を活用して教科等で学習したことを確認させたりすることもできます。

- |   | A   | B  | C   | D   |
|---|-----|----|-----|-----|
| 1 | 補助的 | 対話 | 基本的 | 必要性 |
| 2 | 補助的 | 献立 | 栄養的 | 食文化 |
| 3 | 中心的 | 対話 | 基本的 | 食文化 |
| 4 | 中心的 | 献立 | 栄養的 | 食文化 |
| 5 | 中心的 | 献立 | 基本的 | 必要性 |

③ 次の文は、「第6章 個別的な相談指導の進め方 第1節 個別的な相談指導の基本的な考え方」の記述の一部である。空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

想定される個別的な相談指導は、その課題の改善を目的として期間を決めて  に指導を進めることにより、対象の児童生徒の行動変容を促し、改善、あるいは、より良好な生活を行うための  を獲得できるようにします。また、個別的な相談指導は、学校全体で取り組み、対象となる児童生徒の抽出は、主に  が行い、実際の指導は、  が中心となり関係者と連携を取りながら実施します。

	A	B	C	D
1	定期的、継続的	知識	学級担任	栄養教諭
2	短期的、集中的	知識	栄養教諭	養護教諭
3	短期的、集中的	習慣	栄養教諭	養護教諭
4	定期的、継続的	習慣	学級担任	栄養教諭
5	定期的、継続的	習慣	栄養教諭	養護教諭

(4) 「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育 ～チーム学校で取り組む食育推進のP D C A～」  
(平成29年3月 文部科学省) について、次の①、②の問いに答えよ。

① 次の各文のうち、「I 計画《PLAN》」に示されている内容として、誤っているものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 全校体制で組織的に食育が推進できるよう、校長を責任者として、食育・学校給食に関する各種計画の策定及び進行管理をする委員会を設置する。
- 2 国の食育推進基本計画、各自治体の食育推進計画等で示された指標に基づき、市町村で共通した指標を設定する。
- 3 学校給食の管理に関する計画等については、栄養教諭が自身の専門性を生かして計画案を作成する。
- 4 家庭や地域においても食育に対する理解が進み、食育の取組が推進されるよう、学校から積極的に啓発等の働きかけを行っていくことが大切である。
- 5 食育については第一義的な役割は家庭にあるが、学校においても食育を一層推進していくことが求められている。

② 次の文は、「IV 改善《ACTION》」の記述の一部である。空欄A～Cに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

評価結果を踏まえて、食育推進組織において次年度に向けての改善点を検討します。その際、は、校長（推進組織の委員長）にな評価資料を示し、具体的な改善点を相談した上で、で共通理解を図ります。また、保護者や地域住民などにも適宜評価結果を公表し、相互理解を深め連携体制を改善・強化するとともに、次年度の計画策定に生かします。

	A	B	C
1	給食（食育）主任	専門的	全教職員
2	給食（食育）主任	客観的	給食（食育）部会
3	栄養教諭	専門的	給食（食育）部会
4	栄養教諭	専門的	全教職員
5	栄養教諭	客観的	全教職員

(5) 食育啓発資料作成にあたり、「カルシウムを多くとることができる食品」を紹介する際、牛乳 50 g と同程度以上のカルシウム量を含む食品を記載するものとして、ふさわしいものを○、ふさわしくないものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5 から一つ選べ。ただし、普通牛乳 50 g 当たりのカルシウム量は 55mg とし、「2019 年における日本食品標準成分表 2015 年版（七訂）のデータ更新（報告）」に基づくものとする。解答番号は

- A ヨーグルト（全脂無糖）・・・・・・・・・・ 100 g
- B 凍り豆腐（乾）・・・・・・・・・・・・・・ 20 g
- C ほうれんそう（葉 通年平均 生）・・・・ 80 g
- D しらす干し（半乾燥品）・・・・・・・・・・ 5 g
- E ひじき（ほしひじき ステンレス釜 乾） 8 g

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	○	×	○	×	×
3	×	○	×	○	×
4	○	○	○	×	○
5	×	×	○	×	○

3 健康と栄養について、次の問いに答えよ。

(1) 「日本人の食事摂取基準 (2020年版)」(令和2年1月21日 厚生労働省告示) について、次の①～③の問いに答えよ。

① 次の各文は、主な改定のポイントの記述の内容である。誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 きめ細かな栄養施策を推進する観点から、50歳以上について、より細かな年齢区分による摂取基準を設定。
- 2 食事摂取基準を利用する専門職等の理解の一助となるよう、目標量のエビデンスレベルを対象栄養素ごとに新たに設定。
- 3 若いうちからの生活習慣病予防を推進するため、ナトリウム(食塩相当量)について、成人の目標量を1g/日引き下げるとともに、高血圧及び慢性腎臓病(CKD)の重症化予防を目的とした量として、新たに7g/日未満と設定。
- 4 若いうちからの生活習慣病予防を推進するため、飽和脂肪酸、カリウムについて、小児の目標量を新たに設定。
- 5 若いうちからの生活習慣病予防を推進するため、コレステロールについて、脂質異常症の重症化予防を目的とした量として、新たに200mg/日未満に留めることが望ましいことを記載。

② 次の各文はビタミンの記述の内容である。正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ビタミンDの過剰摂取により小児ではくる病、成人では骨軟化症の発症リスクが高まる。
- 2 ビタミンDは、摂取量の約8割が魚介類に由来し、日照でも産生される。
- 3 ビタミンDは、皮膚や細胞のコラーゲンの合成に必須である。ビタミンDが欠乏すると、コラーゲン合成ができないので、血管がもろくなり出血傾向となり、壊血病となる。
- 4 ビタミンB<sub>1</sub>は、TCA回路、電子伝達系、脂肪酸のβ酸化等のエネルギー代謝に関わっているので、欠乏すると、成長抑制を引き起こす。
- 5 妊娠を計画している女性、妊娠の可能性のある女性及び妊娠初期の妊婦は、胎児の神経管閉鎖障害のリスク低減のために、通常の食品以外の食品に含まれるビタミンEを400μg/日摂取することが望まれる。

- ③ 次の表は栄養素の指標を示している。空欄A～Cに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。  
1～5から一つ選べ。解答番号は

A	生活習慣病の発症予防を目的として、特定の集団において、その疾患のリスクや、その代理指標となる生体指標の値が低くなると考えられる栄養状態が達成できる量として算定。
B	特定の集団における、ある一定の栄養状態を維持するのに十分な量として定義。
C	ある対象集団において測定された必要量の分布に基づき、母集団に属するほとんどの者（97～98%）が充足している量として定義。

	A	B	C
1	目標量	推奨量	推定平均必要量
2	目安量	推奨量	目標量
3	目安量	目標量	推奨量
4	目標量	目安量	推奨量
5	目標量	目安量	推定平均必要量

(2) 「日本食品標準成分表2015年度版（七訂）」について、次の①、②の問いに答えよ。

① 次の各文は、収載成分項目等についての記述の内容である。誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 たんぱく質は、体組織、酵素、ホルモン等の材料、栄養素運搬物質、エネルギー源等として重要である。
- 2 多くの食品では、脂質の大部分を中性脂肪が占める。
- 3 本成分表では、脂肪酸は脂肪酸組成に基づき算出し、飽和、多価不飽和脂肪酸に分けて表示している。
- 4 血中コレステロール濃度が高いと高脂血症や動脈硬化、胆石等が起こりやすくなるが、濃度が低いと貧血や脳出血等を起こしやすくなる。
- 5 プロビタミンAは生体内でビタミンAに転換される物質の総称であり、主として植物性食品に含まれる。

② 次のうち水溶性ビタミンでないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ビタミンK
- 2 パントテン酸
- 3 ナイアシン
- 4 葉酸
- 5 ビオチン

(3) 次の各文は、「平成30年度国民健康・栄養調査」の結果の概要についての記述である。誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 血清総コレステロール値が240mg/dl以上の割合は男性では有意な増減はないが、女性では有意に増加している。
- 2 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べることが「ほとんど毎日」と回答した者の割合は、年齢別にみると男女ともに若い世代ほどその割合が低い傾向にある。
- 3 食品を選択する際に重視する点として回答した者の割合が男女とも高い項目は「おいしさ」である。男女の違いが大きい主な項目は、「栄養価」、「季節感・旬」、「安全性」、次いで「鮮度」、「価格」である。
- 4 野菜摂取量は男女ともに20～40歳代で少なく、60歳以上で多い。
- 5 「糖尿病が強く疑われる者」の割合は女性が男性の約2倍である。



(4) 平成30年度の日本の食料自給率について、空欄A～Eに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- ・日本の食料自給率（カロリーベース）は  %である。
- ・  は90%を超える。
- ・  、  は50%台である。
- ・  は70%台である。

	A	B	C	D	E
1	37	鶏卵	野菜	いも類	肉類（鯨肉を除く）
2	37	鶏卵	肉類（鯨肉を除く）	魚介類	野菜
3	29	鶏卵	肉類（鯨肉を除く）	いも類	野菜
4	29	いも類	野菜	魚介類	肉類（鯨肉を除く）
5	37	いも類	野菜	魚介類	肉類（鯨肉を除く）

4 学校給食の管理について、次の問いに答えよ。

(1) 次の各文のうち「学校給食調理場における手洗いマニュアル」(平成20年3月 文部科学省)の手洗いについての記述の内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 調理を行う際は常在細菌叢を取り除く手洗いが必要である。
- 2 前室で使用する爪ブラシは個人用の爪ブラシを用意する必要がある。
- 3 石けんで手洗いしたあと、ペーパータオルで水分を吸い取らせるだけでなく、水分をしっかりと拭き取ることにより、残っている付着微生物をさらに減少させることができる。
- 4 アルコールが指先にかかるように、指を曲げ、手の平で受ける。
- 5 温水の供給は洗浄効果の面からも、手洗い防止や快適性の面からも必須条件である。

(2) 「調理場における衛生管理&調理技術マニュアル」(平成23年3月 文部科学省)について、次の①～③の問いに答えよ。

① 次の各文のうち、大量調理についての記述として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A ゆで野菜の調味は、供食直前に行う。
- B オープン加熱は、スチームが加わると熱伝達性が低くなり、水分蒸発量が少なくなる。
- C ジャガイモの素揚げは、揚げ油の温度降下が大きい程、吸油率は低くなる。
- D 洗米機の1回の洗米量が多くなると洗米時間も長くなり、砕け米の率が高く、炊きあがりの飯がべたついたものになる。
- E ブラウンルー調整の方法として、小麦粉を天板に入れ、オーブンで焙焼する方法がある。

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	○	×	×	○	○
3	×	×	○	○	×
4	○	○	×	×	×
5	×	○	○	×	○

② 次の各文のうち、保存食についての記述の一部として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 食中毒事件及びその疑いが発生した場合、発生原因の究明のために、保存食が必要である。
- 2 卵は全てを割卵して、混合したものから採取し、保存すること。
- 3 飲用牛乳及び調理用牛乳は、それぞれ別に保存食を取ること。
- 4 調理済み食品は、使用している食品のすべてが含まれるように、釜別、ロット別に採取し、保存すること。
- 5 原材料は、野菜については流水で洗浄し、採取すること。

③ 次の各文のうち、「第4章 調理形態別調理の衛生管理&調理技術マニュアル 1 調理形態別調理における基本的な考え方」の記述の内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 食肉類や魚介類、卵及び加熱終了後の食品を取り扱う際には、専用エプロン、使い捨て手袋を装着し、素手で触らないこと。
- 2 大量調理における調理技術については、基本的には、少量調理の考え方と同様であるが、加熱による蒸発率が高い、温度上昇の速度が緩慢、加熱終了後の余熱が大きい等、大量調理の特徴を理解して作業工程表を作成すること。
- 3 調理終了から給食までの時間が長いために起こる味等の変化を考慮し、加熱や調味（味付け）を行うこと。
- 4 塩分計や中心温度計による確認とともに、しっかり味をみて提供すること。
- 5 加熱処理する食品については、中心温度計を用いるなどにより、中心部が75℃で1分間以上（二枚貝等ノロウイルス汚染のおそれのある食品の場合は85℃で1分間以上）又はこれと同等以上の温度まで加熱されていることを確認し、その温度と時間を記録すること。

(3) 次の各文のうち、「学校給食衛生管理基準」（平成21年4月1日 文部科学省）の記述の内容として、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 検便は、カンピロバクター、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌血清型O157の3つの細菌についてのみ、毎月2回以上実施すること。
- 2 作業区域の外部に開放される箇所にはエアカーテンを備えるよう努めること。
- 3 食品を取り扱う場所は、内部の温度及び湿度管理が適切に行える空調等を備えた構造とするよう努めること。
- 4 食品の保管室は、専用であること。また、衛生面に配慮した構造とし、食品の搬入及び搬出に当たって、調理室を経由しない構造及び配置とすること。
- 5 調理場の給水、排水、採光、換気等の状態を適正に保つこと。また、夏期の直射日光を避ける設備を整備すること。

(4) 次の各文は、「学校給食調理従事者研修マニュアル」(平成24年3月 文部科学省)の食中毒の原因となる病原体についての記述の一部である。空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- ・大腸菌は  分ほどで倍に増える。
- ・通常、細菌は熱に弱いので75℃、1分ほどの加熱で死滅するが、 を作る細菌(ウェルシュ菌やセレウス菌)では100℃の加熱でも食中毒の原因になる。
- ・ノロウイルスによる食中毒は冬季に集団発生という形で起こることが多いが、近年は夏場にも発生している。潜伏期は  で、下痢、嘔吐、吐き気、腹痛、発熱などが主な症状である。
- ・腸管出血性大腸菌は牛などの反芻類の腸管内に生息し、糞尿を介して様々な食品や水を汚染する。重症では  や脳症を併発し、致命的になる。

	A	B	C	D
1	20	毒素	1～10日	溶血性尿毒症症候群
2	60	芽胞	1～10日	アセトン血性嘔吐症
3	60	毒素	24～48時間	アセトン血性嘔吐症
4	20	芽胞	24～48時間	溶血性尿毒症症候群
5	20	毒素	1～10日	アセトン血性嘔吐症

(5) 次の各文は、「調理場における洗浄・消毒マニュアルPart 2」(平成22年3月 文部科学省)の食器の洗浄・消毒についての記述の一部である。誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 作業開始時に食器類が乾燥しているか、必ず確認を行い、乾燥していなかった場合は、再度スITCHを入れ、乾燥・消毒を行うこと。
- 2 メラミンの食器には酸素系漂白剤は使用できない。
- 3 使用する洗浄剤は、中性洗剤、アルカリ洗浄剤又は液体、粉末等、食器の材質や使用する洗浄機に応じて使い分ける。
- 4 原則として、熱風消毒保管庫で乾燥保管する。
- 5 熱風消毒保管庫に収納できない食器がある場合は、熱風消毒保管庫で乾燥させ、食器が十分に乾燥したことを確認した後、衛生的な戸棚等に保管する。

5 食物アレルギーについて、次の問いに答えよ。

(1) 「学校給食における食物アレルギー対応指針」(平成27年3月 文部科学省)において、「2 対応申請の確認から対応開始まで 1 対応申請の確認」の中で、学校がアレルギー対応の申請を受ける時期として、「新規発症・診断及び転入時」以外に挙げられているものは何か。いずれも三文字で2つ答えよ。

(2) アレルギー表示について、次の①～③の問いに答えよ。

① 食品表示法第4条に基づき、内閣府令で表示が義務付けられている「特定原材料」は現在7品目ある。7品目の食品をすべて答えよ。

② 令和元年に、消費者庁が、アレルギー発症者の増加を踏まえて「特定原材料に準ずるもの」として新たに追加した食品名を答えよ。

③ 次の文は、消費者庁が通知した「食品表示基準について」(令和2年3月27日改正)の「別添 アレルゲンを含む食品に関する表示」の記述の一部である。空欄Aにあてはまる語句は何か答えよ。

原材料として特定原材料等を使用していない食品を製造等する場合であっても、製造工程上の問題等により  が発生することが指摘されている。

(…略…)

また、これらの  防止対策の徹底を図ってもなお  の可能性が排除できない場合については、アレルギー疾患を有する者に対する注意喚起表記を推奨するものである。

(3) 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」(令和元年度改訂 公益財団法人日本学校保健会) について次の①～③の問いに答えよ。

① 「食物アレルギーの除去根拠」として、「食物(経口)負荷試験陽性」、「IgE抗体などの検査陽性」以外に挙げられている項目は何か。2つ答えよ。

② 次の文は口腔アレルギー症候群についての記述の内容である。空欄Aにあてはまる語句は何か答えよ。

口腔アレルギー症候群はIgE抗体が関係する口腔粘膜のみのアレルギー症状を指すが、—食物アレルギー症候群のことがほとんどである。のアレルギーがある児童生徒等がそれらの抗原と構造が似た物質を含む生の果物や野菜を食べたときに、食後5分以内に口腔内の症状が誘発される。

③ 文中の(a)～(f)に入る語句を記せ。

・食物アレルギーの管理は「正しい診断に基づく(a)の除去」である。食物経口負荷試験により診断を正確に行い、(a)の除去を実施することが大切である。

・アレルギー反応により、じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、ゼーゼー、呼吸困難などの呼吸器症状が複数同時にかつ(b)に出現した状態を(c)と言う。その中でも、血圧が低下して(d)の低下や脱力を来すような場合、特に(e)と呼び、直ちに対応しないと生命にかかわる重篤な状態であることを意味する。

また、(c)には、アレルギー反応によらず(f)や身体的な要因(低温/高温など)によって起こる場合があることも知られている。

